



## 学内 LAN でより便利なキャンパスライフを

守田 圭<sup>1</sup>

学内 LAN と、キャンパスライフ (= 大学内での生活: 以下, 大学生生活) に貢献する福利厚生施設である生協との関係を、生協の職員としてではなく、生協の実情をよく知っている一個人として思いつくまに書き連ねてみます。

学内 LAN は大学生生活にとって欠かせない物になりつつあります。そして、大学生協も同様に不可欠な物だと思います。その2つを結びつけ、学内 LAN を使用して大学生協のサービスを利用できることは、魅力の有ることだと思います。そして近年、大学内ネットワーク施設の整備が進むに伴って、各大学の生協も学内 LAN に接続するケースが増えています。そこで問題になるのは、実際に生協がどのようなサービスが出来るかという事です。現時点では、生協側の対応は一部を除いてほとんど出来ていないのが現状だと思います。その原因と対策ですが、以下のような物があげられるのではないのでしょうか。

- 原因その1…知識不足

これまで、生協は学内 LAN に接する機会がありませんでした。どんな物かを知らずして、対応が出来るわけがありません。

- 原因その2…ネットワークの性格

大学の LAN は基本的に研究用のネットで、営利目的の使用には問題があるようです。ところが、生協が学内 LAN を利用する場合、どこまでが営利でどこまでが研究のための情報提供なのか、判断に苦しむところでしょう。

- 対策その1…知識は手に入れる

不足している知識は学習すればよいのです。とはいえ、何も無いところからというのは無理なので、エキスパートの方々の協力無しには無理かもしれません。

- 対策その2…まずは出来ることから

大風呂敷を広げても、問題点ばかりが目立って進展しないものだと思います。現在、飯塚で教職員からの書籍の注文だけは受付けている様に、出来ることから少しずつ実現していくのも一つの方法ではないのでしょうか。

生協が学内 LAN を利用してどういうサービスを行うかは、まだ話が出始めたばかりで暗中模索の状態なのですが、

---

<sup>1</sup>九州工業大学生生活協同組合

1. 現在の書籍注文を発展させて、旅券など種々の分野の注文や問い合わせに即応できる環境を整えること。
2. 書籍の新刊、パソコンなど勉学研究支援物品の情報をニュースで提供すること。
3. 生協の开店時間、特別フェアなどの大学構成員に有益な情報の提供をすること。などが出来ると、大学生活を楽しく過ごせるのではないかと思います。

何はともあれ、センターや教職員の方々との協力無しに実現できることではないと思います。もっといろいろな要望を相談すれば、生協もできる限りの対応はして行くでしょうし、より便利な大学生活を目指してともに発展して行って欲しいものです。